工学部新聞 NO. 32

平成30年10月発行

OPEN CAMPUS 8.3

～目次～

1ページ
•オープンキャンパス
2, 3ページ
•科学フェスティバル
inよねざわ２０１８
•第８１回東北花火大会
4, 5ページ
•寒河江さくらんぼウォーク
２０１８
•米沢市の文化・伝統工芸を身近に
第７回なせばなる秋まつり
6, 7ページ
•第２４回吾妻祭～３大学を繋ぐ
虹の架け橋～
•表彰
.取材に協力して下さった方
•今後のお知らせ
8ページ
•工学部新聞部メンバー募集中！！
•編集後記
•2018年度工学部新聞部メンバー

８月３日(金)に山形大学工学部オープンキャンパス２０１８が開催されました。東北を中心に多くの高校生や大学生が米沢キャンパスに訪れました。学科紹介や模擬講義、研究室見学など、大学生活や研究室の雰囲気を体感できるプログラムがたくさん用意されていました。

学科紹介・模擬講義では、最初に理学部・工学部の違いや各学科で学べる分野ついて説明があり、その後、学科の先生による専門的な授業が行われました。研究室見学では、研究室に所属している先輩から研究内容や研究室の生活について、直接話を聞ける機会がありました。気軽に質問ができ、研究室の雰囲気も分かるため、高校生はもちろん、研究室配属を控えた学部生も訪れていました。

他にも、学科の先輩たちが各学科の見どころやキャンパス内を案内するキャンパスツアー、工学部図書館の公開などが行われていました。お昼には生協食堂が開かれ、ご飯を食べている高校生や保護者の方が沢山いました。

参加した高校生に話を聞いてみました。建築・デザイン学科に興味がある高校生は、「人が生活するにあたって、過ごしやすさ等がきちんと考えられた上で設計されていてすごいと思った」「展示されていた模型に感動した」と驚いていました。また、機械システム工学科に興味がある高校生は「機械系なのにiPSのような細胞を扱っている研究室があって面白かった」と、大きな発見もあったようです。オープンキャンパスは毎年開催しているので、興味がある方は来年是非参加してみて下さい。

科学フェスティバル inよねざわ 2018

7月28日(土)、29日(日)の2日間、「科学フェスティバルinよねざわ2018」が山形大学米沢キャンパスで開催されました。この催しは、山形大学工学部、地域の小中高校などの教育機関及び地域貢献の大切さを考える企業が連携し、次の世代を担う子供たちの感性を育むことを目的に毎年行われており、科学の不思議や科学技術の魅力に触れ、面白さを感じる体験の場を提供しています。

米沢の夏の風物詩となりつつあるこのフェスティバルも、今年でなんと11回目！工学部の教職員や学生、そして地元の中高生など有志の方によって40ものブースが出展し、会場は子供から大人まで多くの人が訪れ、今年も賑わいを見せていました。

ブースの紹介

「化粧品を作ろう！」

野々村研究室(バイオ化学工学分野)

はちみつなどの食べられる材料を使った手作りの化粧水づくりが行われていました。中身や香りはもちろん、ボトルのデザインにまでこだわった、世界に一つだけのオリジナル化粧水づくりに、子供たちだけではなくお父さんやお母さん方まで、夢中になって作っていました。

「香りの有機化学」

片桐研究室(物質化学工学分野)

香料の入っていない飴玉を舐めながら様々な匂いを嗅ぐ、という企画が行われていました。ただ甘いだけの飴玉が、匂いによって様々な味に変化する、ちょっと不思議で面白い体感ができました。

その他にも、スライムづくりやストロー飛行機飛ばし、有機ELなど多くのブースがあり、幅広く科学を体感できます！

また、参加した子供たちは各ブースで様々な科学を体感し、手にしたカードにスタンプを集めていました。スタンプを集めると、ちょっとしたプレゼントがもらえるそうですよ！
身の回りのちょっと不思議で面白い現象や、最先端の技術を体感できる「科学フェスティバル」、皆さんも来年はぜひ参加してみてはいかがでしょうか？？

第８１回 東北花火大会

７月３０日(月)、松川河川敷にて「第８１回 東北花火大会」が開催されました。天候にも恵まれ、平日にも関わらず多くの人が訪れました。日が暮れる前から河川敷はたくさんの屋台で賑わい、何を買おうか悩みながら歩く人でいっぱいでした。

開始時刻の１９時３０分になると、アナウンスと共に花火が打ち上がり、河川敷で花火の打ち上げを待っていた人からは拍手と歓声が沸き上がりました。１０連発から、１００連発の打ち上げ花火、スターマインやワイドスターマインなど様々な花火が次々に夜空一面を彩りました。

この花火大会の目玉は３台のクレーンを使い、米沢市の象徴である吾妻山を表現した全長２００m、高さ２０mの「大ナイアガラ瀑布」です。観客の目の前で端から点火され、吾妻山を模した形に燃え移り、色彩を変えながら線を引くように落ちていく、その迫力に会場は一際大きな歓声に包まれました。

工学部近くでは、この花火大会のほかにも８月３日(金)に松が岬公園にて米沢納涼水上花火大会が開催されていました。どちらも毎年開催されていますので、まだ行ったことのない方は是非参加してみてください。

寒河江さくらんぼウォーク２０１８

7月1日(日)、道の駅寒河江のチェリーランドで寒河江さくらんぼウォーク２０１８が開催されました。このイベントは今年で7回目を迎え、1000人もの参加者が集いました。さくらんぼウォークには、寒河江の歴史を巡る12kmコースと、豊かな自然を歩く6kmコースがあります。

さくらんぼウォークの醍醐味は走るだけでなく、寒河江の食も味わうことができる点です。コースの途中では寒河江名物“冷たい肉そば”や“さくらんぼ(紅秀峰)”がふるまわれ、ゴール後には寒河江市の特産物である「さくらんぼ(紅秀峰)の食べ放題」が待っています。他にも、「さくらんぼの種吹き飛ばし」や2人でさくらんぼの着ぐるみを頭に被り、二人三脚を行う「チェリーラン」、「さくらんぼ釣り」などさくらんぼのアトラクションも楽しめます。最後には抽選会が行われ、当選者には紅秀峰1箱が送られました。

私達も実際に6kmコースに参加してきました。参加者の年齢層は幅広く、親子連れの姿も多く見られ、各自のペースでウォーキングを楽しんでいました。また寒河江名物や自然も堪能することができて、身も心も満たされました。また、このさくらんぼウォークに参加すると周辺施設の食べ物や入浴施設の割引券がついており、それらを利用して寒河江を散策できます。みなさんも是非、ここ山形でしかできないイベントに参加してみてはいかがでしょうか。

★ 米沢市の文化・伝統工芸を身近に

第７回なせばなる秋まつり

９月22日(土)、23日(日)に松が岬公園と伝国の杜周辺で「なせばなる秋まつり」が開催されました。このお祭りは上杉鷹山公の「なせばなる」の精神に習い、米沢市民が地元の魅力を後世に伝えるために企画したものです。博物館前の通りには、棒杭市(ぼっくいいち)と言われる無人の出店が並んでいました。これは江戸時代中盤に庶民が杭などに紐を吊るし、その中に商品を入れて販売していた風景を再現しているそうです。現代の視点からは、盗難など心配になってしまいますが当日も盗む人はおらず、人を信じあっていた歴史を感じることができました。

↑伝統市出店の様子

↑伝統工芸品と職人さん

イベント運営に携わる山形大学Acce Lin代表の武内優汰さんにお話を伺いました。「出店の場所取りやイベントの段取りは苦労が多かったです。しかし、社会人の方々から指導を受け、協力して進めることができました。実際にお客さんが職人さんと話したり、工芸品をつくったりしながら先人から受け継いできたものを実感している様子を見ることができ、やりがいを感じています」と語っていただきました。そこには、トンボ玉体験や縁起が良いとされる槐(えんじゅ)の木をつかったウェルカムボードづくりに挑戦しながら地域の方々と交流をする人々の姿がありました。

↑どん丼まつりの丼ぶり

他にも、ステージイベントが催されご当地ヒーローやアイドル、ゆるキャラが活躍し、会場に流れる活気あふれる音楽が祭りを盛り上げるBGMとなっていました。米沢どん丼まつりも開催され、米沢牛丼、ステーキ丼などの地元オリジナルグルメや芋煮、会津名物ソースカツ丼などが並んでいました。秋空の下、秋の実りを堪能するとともに土地に伝わる技や心を感じることができる素晴らしいイベントでした！

↓秋まつりを楽しむ子供たち

第24回吾妻祭

～3大学を繋ぐ虹の架け橋～

１０月６日(土)～８日(月)、山形大学工学部、米沢女子短期大学、米沢栄養大学の３大学合同による第２４回吾妻祭が開催されました。今回の吾妻祭のテーマは「虹」。このテーマは、『実行委員一人一人が自分らしさの色を出し、虹のように吾妻祭成功という一つの目標に向かって進んでいってほしい』『虹は世界的に幸せの象徴とされているため、来ていただいた方々に少しでも喜んでもらえるような吾妻祭にしたい』『第２４回吾妻祭であることから２４をもじって虹』という３つの意味からつけられたそうです。

特設ステージでは、様々なサークルによる発表や実行委員会による企画、クロコップのお笑いライブ等が催され、子供から大人まで大盛り上がりでした。校内では、参加型のアトラクションやサークルで製作した展示が多数あり、お化け屋敷で悲鳴を上げる学生や作ったおもちゃで遊ぶ子供たちがたくさん見受けられました。また、主要なブースを巡るスタンプラリーも開催されており、私も子供たちに混ざって参加してきました。吾妻祭を隅々まで楽しむことができ、大満足でした！

吾妻祭実行委員会の皆様お疲れさまでした！来年はどんな催しがあるのか今から楽しみですね！！皆さんで青春の１ページを刻みましょう！ ！

学　会　等　で　の　表　彰

（※D=博士後期課程、M=博士前期課程、B=学部）

第18回日本伝熱学会東北支部学生発表会 優秀プレゼンテーション賞

平成30年5月19日

佐藤（さとう）　翼（つばさ）さん

機械システム工学専攻　M2

（栃木県真岡高校出身）

題目：矩形管を用いた循環型温水式融雪装置の融雪及び温度特性

Best Poster Awards on 34th International Conference of the Polymer Processing Society

平成30年5月25日

劉（りゅう）　承穎（ちぇんいん）さん

有機材料システム専攻　M1

（台湾出身）

題目：Evaluation of Engineering Properties and Internal Morphology of Graphite Filled UHMWPE Composites Obtained by Special Kneading Process

おめでとうございます!!

※学年は受賞当時のものを掲載しています。

平成30年度分離技術会年会 学生賞

平成30年5月26日

高根（たかね）　慧（けい）さん

物質化学工学専攻　M2

（千葉県立銚子高校出身）

題目：蒸留，膜分離ハイブリッド分離技術の経済性評価

HTSHFF2018 Best Student Poster Award

平成30年6月5-8日

児玉（こだま）　俊（しゅん）さん

電気電子工学専攻　M2

（宮城県仙台西高校出身）

題目：Design of transmitter filter using eight-pole cascaded quadruplet superconducting bulk resonator

情報処理学会東北支部 奨励賞

平成30年6月20日

宇佐美（うさみ）　智之（ともゆき）さん

情報科学科　B4

（宮城県仙台三桜高校出身）

題目：電池残量の高残量化・均一化を目指したDTNルーティングプロトコル

2018 Electrostatics Joint Conference Student Paper Competition 1st grade

平成30年6月20日

沼山（ぬまやま）　和樹（かずき）さん

電気電子工学専攻　M2

（宮城県宮城第一高校出身）

題目：Non-contact surface resistivity tester for materials from 10^6 to 10^11 ohm

プラスチック成形加工学会 第29回年次大会 優秀学生ポスター賞

平成30年6月21日

滝口（たきぐち）　昌太（しょうた）さん

有機材料システム専攻　M2

（長野県立長野吉田高校出身）

題目：熱膨張性カプセルを用いたポリプロピレン押出発泡成形性に及ぼす樹脂粘度と成形温度の影響

プラスチック成形加工学会 第29回年次大会 優秀学生ポスター賞

平成30年6月21日

吉浦（よしうら）　拓人（たくと）さん

有機材料システム専攻　M1

（北海道札幌旭丘高校出身）

題目：アイオノマーの中和度がホットタック性に与える影響

プラスチック成形加工学会 第29回年次大会 ポスター賞

平成30年6月22日

石神（いしがみ）　明（あきら）さん

有機材料システム専攻　D3

（福島県立福島西高校出身）

題目：PA6/SEBS-g-MA/PS三元ブレンドの構造と物性

日本蛋白質科学会第18回年会 ポスター賞

平成30年6月27日

志賀（しが）　翔多（しょうた）さん

バイオ化学工学専攻　M2

（福島県立橘高校出身）

題目：球状蛋白質のドメインスワッピングを実現するループのリデザイン

応用糖質学会東北支部会 Most Impressive Poster賞

平成30年7月6日

長崎（ながさき）　善（あかね）さん

機能高分子工学科　B4

（山形県立山形西高校出身）

題目：わらびもちのナノスケール構造の解明

平成30年電気学会全国大会 優秀論文発表賞

平成30年7月19日

田中（たなか）　醇（じゅん）さん

電気電子工学専攻　M1

（東北学院高校出身）

題目：電気絶縁性によるスプレー塗着均一性の評価

The Asia Pacific Society for Computing and Information Technology 2018 3rd Prize in Poster Presentation

平成30年7月21日

田村（たむら）　和仁（かずひと）さん

情報科学科　B4

（東京都立保善高校出身）

題目：Generating Serif for Characters

日本混相流学会混相流シンポ2018

平成30年8月9日

田崎（たざき）　駿平（しゅんぺい）さん

機械システム工学専攻　M1

（福島県立会津高校出身）

題目：超音波マイクロバブルを応用したシリカ中空粒子の製法

取材に協力してくださった方

※D=博士後期課程、M=博士前期課程、B=学部　学年は今年度のものを掲載しています。

武内（たけうち）　優汰（ゆうた）さん

物質化学工学科（B3）

（埼玉県立熊谷高校出身）

5ページ

ご協力ありがとうございました

今後のお知らせ

〇秋のスポーツ大会

日時：１２月９日(日)

場所：工学部体育館

〇上杉雪灯籠まつり

日時：２月９・１０日(土・日)

場所：上杉神社

工学部新聞部メンバー募集中！！

活動内容

新聞部では“**本学生の視野拡大や新たな活動のきっかけとなるような新聞作り**”を目指し、学内行事や頑張っている学生・部活動などに焦点を当て、取材から記事の作成・編集・印刷・配布までをメンバーで協力して行っています。

～新聞発行(配布)までの流れ～

約2ヶ月前　内容・担当者の決定 → 取材(各自) → 記事作成(各自)
約1ヶ月前　推敲(全体) → 記事の修正(各自) → 推敲・修正を繰り返す
約2週間前　編集(各自) → 最終check！(全体)
約1週間前　印刷 → 折る作業(全体) → 配布先の分担
新聞発行

↑活動場所の地図

～活動頻度・活動日・活動場所～

活動頻度：全体で集まるのは新聞発行の約1ヶ月前から(週1回くらい)。
年間発行回数は、4，5回程度。
活動日：皆の都合の良い日。
活動場所：管理棟(山形大学正門から見て真正面の建物)の入り口から入ってすぐ左手の旧広報室。

魅力

自分の所属する学科だけでなく、他学科が行っているイベントやサークル活動、地域の方々と協力して行うボランティア活動にも取材という名目で参加でき、“新聞部に入らなければ体験し得なかったであろうことが体験できます”。このような体験を通して自分自身の視野を広げることができます！文章を書くのが苦手という方でも、たくさん記事を書いて経験を積んだり、メンバーとの意見交換を重ねることで“他者にわかりやすく伝わる文章が書ける”ようになります！

興味をもった方はまずは見学へ！お待ちしていま～す(^^)/連絡先→tyt63047@st.yamagata-u.ac.jp **(代表:高谷)**

編集後記

こんにちは、新聞部二年目の久原です。ハロウィンやポッキーの日など、甘いものが好きな自分にとってはほんの少し楽しい日々がやってきました。最近はバケツプリンを超える新しいプリンについて考えています。いいアイディアがあれば教えてください。

10月号はオープンキャンパス、なせばなる秋まつり、吾妻祭などのイベントが盛りだくさんです。楽しく読んでいただけたら幸いです。(久原)

2018年度工学部新聞部メンバー

●相馬江利加(バイオ化学工学専攻2年)…新聞部3年目。紙面ｐ６の「吾妻祭」担当。
●清水らな(バイオ化学工学専攻2年)…新聞部2年目。紙面ｐ２の「科学フェスティバル」担当。
●伊東莉菜(バイオ化学工学専攻2年)…新聞部2年目。紙面ｐ３の「東北花火大会」担当。
●高谷百香(バイオ化学工学専攻1年)…新聞部1年目。紙面ｐ４の「さくらんぼウォーク」担当。
●久原利英子(バイオ化学工学専攻1年)…新聞部1年目。紙面ｐ１の「オープンキャンパス」担当。
●五十嵐有佳(バイオ化学工学専攻1年)…新聞部1年目。紙面ｐ５の「なせばなる秋まつり」担当。
♪新聞部に興味のある方は下記の連絡先までお気軽にご連絡を(＾０＾)/
お待ちしています！
連絡先→tyt63047@st.yamagata-u.ac.jp（代表：高谷）

☆本誌のカラー版がPDFでご覧になれます。山形大学工学部新聞で検索！

ホームページ→https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/special/newspaper/

☆各種の活動や受賞、表彰などを掲載させていただきます。

2018年度新聞部メンバー↑